

交通事故をなくそう

- ◇歩行者優先の励行
- ◇車の直前直後の横行をやめよう
- ◇スピード制限を守ろう

(交通事故をなくする県民運動11月の目標)



昭和37年11月1日 第295号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県

発行人 文書広報課長 出水 清治

印刷所 和歌山新聞社

昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認

雑誌第2816号

小野

さらに強力な施策を表明

道路整備を重点に

予算22億余円を追加

昭和三十七年度に入つて第二回目の走例県議会は、さる九月二十八日に開かれ、道路の整備をはじめ県民生活を安定させるためいろいろな施策を含めた追加更正予算二十二億一千余万円と条例の改正など、四十六議案を可決して十一月十七日に閉会しました。

県議会のはじめ、まず小野知事は、本年度の県政も、いよいよ下半期を迎えることに

なりましたが複雑な経済情勢の中で、多くの困難な事情

あります。が、先進県へ飛躍するための施策が県民の協力を

表現しつつあり、こんごさ

で表現しつつあります。さらに強力に推し進めたいと語

に、道路交通の安全と円滑化

をばかり、破損箇所の早期復旧を行なうための道路パトロールを強化することを、行なうための経費などを強化することになりました。

漁業近代化資金も

また沿岸漁業の振興をはかるために、海産のわか鮎を育てる施設を設けるとともに、一



ガンのX線写真など

好評の日赤衛生展

小野知事は、健康歌舞山旗

幸福を根こ

そぎ不幸の

どん底にお

とし入れる

病気、これ

が私たちの

最大の敵で

あり苦痛で

しょ。特

に最近がん

を初めとし

た高年病が

保健衛生の面で役立てくだ

きました。

日赤和歌山県文部長の小野知

事をはじめ多くの県民が

保健衛生の面で役立てくだ

きました。

日赤和歌山市内で「衛生展」を開

きました。

い、健康で明るい生活への道

するべとなるよう、このほど

二万五千人で数字の上からみ

なりつつあることを示してい

ます。また、専門知識を必要

とする場合の専門指導員の相

り、実際にも六十五人が巡回

します。事業発展のため利

用するべき相談員として、

経営改善普及事業の担当

の商工会、市部の商工会議所

に、経営改善普及事業の担当

の商

海草海南版

子供の幸を願つて

迎え 母親クなど大会開く

暴力をなくし
明るい社会を
暴力追放運動



大会で演奏する下津小学校児童樂団

秋晴れの一日、下津小学校講堂に約九百人が集い、第二回海草郡母親クラブ・子供クラブ大会が開かれました。まず、下津小学校児童樂団による演奏によって幕があけられ、郡児童福祉連絡協議会が開会式が終りて体验発表ならず、下津町長のあいさつ、小野知事の激励のことばに続いだ。次に美里町、上中八代さんの「子供クラブ活動の一断面」、野上町、石本美代さんの「事業計画について」、下津町、橋

合唱し、盛會裡に大会の幕を

午後は淀川善隣館長柳原博氏

の講演と質疑応答があり、最

後に母親クラブの歌を全員で

詠じ、盛會裡に大会の幕を

閉じました。

本つた子さんの「私たちの歩み」の発表がありました。そのあと議長団三名（下津町寺脇アサヨ、野上町土肥つる子、美里町松本くに）を選出し協議しました。各種団体と協力する方法などを話し合ひ、助言者美谷民生部長の「明日の子供のためにただ実践あるのみ」ということばを最後に協議を終りました。休けい時には各町代表による三曲のおどりの発表があり、午後の部に入りました。

東洋と日本方電停間の消防署前に海南市で初めての交

通信号機が設置されました。

日まで県経済センター一階催場で開かれます。

これは私達の生活なくては

ならない電気の正しい使い方の説明や優秀家庭製品の紹介等

をするものです。

家庭電化製品等五百点の景品

があるたるクイズと映画などの

自慢などあります。

この信号機は学校をはじめ地

元の強い要望があつて、工

事費七十万円のうち県交通安

全額が四十万円、海南市が二十四万円、ライオンズクラブ海南支部が六万円を分担し

てつけられたのです。

この信号機は学校をはじめ地

元の強い要望があつて、工

事費七十万円のうち県交通安

全額が四十万円、海南市が二十四万円、ライオンズクラブ海南支部が六万円を分担し

<p



自動車の増加につれて、交通事故もとともにふえ、いまや交通事故の防止は国民運動となつてきました。

日高郡と御坊市では交通事故防止対策推進協議会がつくりられ、全市民が一体となつた交通事故防止運動がくりひろげられるところになり、その第一回の秋の運動がこのほどおこなわれました。この日御坊小学校に集合した御坊警察署

員が市内めぬき通りをパレードして交通安全を呼びかけました。白のユニホームに黄色のタスキ、一糸みだれず真々と行進する少年と雀隊のさうそうとしたパレード人々はおしみなく拍手をおくりました。

そのあと婦人会と洋裁学校の皆さんのが街頭にて道ゆく人々に黄色の羽根をつけ正しく規則を守って安全な交通を呼びかけました。

月たらずでも入選

赤ちゃんコンクール

三十七年度の乳幼児コンクールには、赤ちゃん六十三名が参加。医師会長さんらの慎重な審査の結果、二十名が県コンクールに参加できる優良児に選ばされました。

優良児は例年のように第一子が一番多く、母親の育児えの坊の脇山秀之(日高)、川越縁花谷五百子(印南)、森幸子(御坊)、池澤子(美浜)、小川せ(日高)、乳児部前期野上

藤川直人(川辺)、池田忠広(美浜)、永井眞子(南部川)。

高津尾小学校は危険校舎の一

九、特別教室三のほか印刷、

理科準備、教材、図書室など

があります。

